

平成28年 第1予算審査特別委員会討論要旨

◎ 会 派 清 新

会派清新を代表いたしまして、第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号 平成28年度滝川市一般会計予算及び関連議案を可とする立場で討論いたします。

平成28年度予算は、滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略並びに財政健全化計画が策定された後の初の予算となります。市の財政を支えている市税、地方交付税も全体として昨年より減額されるという厳しい財政運営の中、予算編成に当たられました市理事者、関係職員の皆様に対し、心より敬意を表します。

以下、若干の意見を付して討論といたします。

(歳 入)

ふるさと納税制度の本来の趣旨を守りつつ、さらなる活用による財源の拡大をされたい。財源確保のため、交付税、国、道の各補助金などの活用と確保にさらなる努力をされたい。

(歳 出)

1. 総務費

仕事への取り組みや業務の改善を図り、事務事業を見直し、積極的に取り組まれたい。事務用品等の無駄をなくし、再利用を促進されたい。電気料節約のため、町内会の街灯LED化を今後積極的に進められたい。情報セキュリティ対策をより一層強化し、CIOの設置なども検討されたい。

2. 民生費

敬老事業については、多くの方の意見を聞いて計画を策定されたい。臨時福祉給付金については、新設、向上のための努力をされたい。生活困窮者に対する支援、高齢者福祉の充実、子育て支援のさらなる拡充を図られたい。

3. 衛生費

滝の川斎苑の改修工事については市民からの要望も高く、計画の前倒しを検討されたい。

4. 商工費

市の花コスモス栽培については再考し、秋の花観光にも注力をされたい。中心市街地活性化の空き店舗対策や空き家の活用などに力を入れられたい。

5. 土木費

除排雪について、除排雪組合に指導を徹底し、雪道の安全対策、除雪技術のさらなる向上を図られたい。

6. 教育費

学校図書の実施のため、図書費の増額を図られるよう希望します。地元食材を利用し、全ての子どもたちに安全・安心な学校給食が提供されることを希望します。東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致事業については、内容を再検討されたい。まち自慢のパークゴルフ場については、将来への負担が極力少なくなるような運営をされるよう努力を希望します。厳しい財政状況ではありますが、芸術文化関連事業についても、今後も現状を維持されるように希望いたします。

◎ 会 派 み ど り

会派みどりを代表して、第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号 平成28年度滝川市一

般会計予算及び関連議案を全て可とする立場で討論いたします。

大変厳しい財政状況の中、国の経済成長戦略に沿った形の予算編成には大変な苦勞があったものと推察いたします。予算編成に当たられました市長はじめ市理事者、担当部局の皆様に心より敬意を表します。

滝川市の現況において、財政支出と財政健全化を示す指標は、やや健全と思われます。しかし、基金の残高、これから先の財政負担においては平均収支不足見込み額が約5億円となったことから、本年度は圧縮に努められましたが、これからの財政状況が好転することは厳しく、緊縮財政を余儀なくされることが待ち受けているものと考えます。財政運営が安定的に実施できるよう、策定された財政健全化計画を今後着実に推進していくことを期待するものです。

以下、若干の意見を付して討論いたします。

(歳 入)

- (1) 財源確保のため、新型交付金、各補助金の確保に引き続き努力されたい。
- (2) 市税の収納率向上に鋭意努力されていることを評価いたします。手数料などの滞納の解消になお一層努力されたい。

(歳 出)

1. 総務費

- (1) 市民が活躍するまちづくり活性化事業、町内会等活動促進事業については、さらに利用拡大になるよう努力されたい。
- (2) 街路灯LED化の拡大策、そして促進は大いに評価します。さらなる省エネ、節電に努められたい。
- (3) ふるさと納税による財源確保に向けて取り組みを図られたい。
- (4) 男女共同参画事業推進事業では、女性の参画推進に一層力を入れられたい。

2. 民生費

- (1) 老人福祉医療のさらなる充実に向け、生活困窮者の支援に力を入れていただきたい。
- (2) 子育て支援事業、放課後児童クラブ事業、放課後子ども教室事業に対しては、子供たちに対し充実した内容になるよう努められたい。

3. 衛生費

- (1) 集団資源回収の推進に力を入れられたい。
- (2) 市民の健康を守るため、がん検診及び各種予防接種の受診向上の取り組みを図られたい。

4. 農林業費

- (1) 基幹産業である農業の新規就農者支援、担い手育成支援に一層の努力をされたい。
- (2) 元気な農業づくり、滝川農業塾補助金の有効な活用を期待します。

5. 商工費

- (1) 栄町3-3地区優良建築物等整備事業にあわせて、中心市街地の活性化、空き店舗減少に向けての対策に力を入れられたい。
- (2) 花観光事業、広域観光を含め、食、グライダー観光など、地域おこし協力隊を有効活用して、観光PR、そして多くの集客を目指して努力されたい。

6. 土木費

- (1) 除排雪については、除排雪組合への指導が徐々に浸透してきているが、特に通学路等雪道の安全

確保に努力されたい。

(2) 障害者や高齢者宅門口の除排雪に配慮されたい。

(3) 公共事業等、地元企業への発注を促進されたい。

7. 消防費

(1) 急な災害にも対応できるよう、訓練の実施、防災用機材整備、食料の備蓄に努められたい。

8. 教育費

(1) パークゴルフ場については、経費削減、交通網対策、そして料金設定においては、誰もが気軽に利用できるような料金設定を慎重に検討されたい。

(2) 子供のいじめ対策については、重い問題が発生のとき、保護者からの申し出に対し速やかに真摯に報告するよう努められたい。

(3) 学校給食については食材の地産地消に努力されているが、中空知に拡大した地産地消を検討されたい。

最後に、本予算執行に当たり、適正かつ効率的に行うとともに、財政健全化の促進と地方公務員として真摯に業務遂行に当たられることを要望し、討論いたします。

◎ 新 政 会

新政会を代表して、第1予算審査特別委員会に付託されました、議案第1号 平成28年度滝川市一般会計歳入歳出予算及び、関連議案第14号、第16号から第20号、第22号から第25号、第28号、第30号から第40号及び第44号の議案を可とする立場で討論を行います。平成28年度は、「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「滝川市財政健全化計画」を本格的に推進して行く初年度であり、緊急度及び重要度を熟慮され、厳しい財源環境の中で、メリハリのある効率的かつ効果的な予算編成に取り組まれました事は高く評価いたします。予算編成に当たられました市長をはじめとする市理事者並びに職員の皆様に敬意を表します。

以下、歳入・歳出に関して、若干の意見を述べさせていただきます。

(歳 入)

1. 国や道の動向を的確に捉え、交付税・補助金等の確保に引き続き努力していただきたい。
2. 財源確保のため、「財政健全化計画」を確実に実践することを求めます。
3. 市税の収納率向上に鋭意努力されていますが、引き続き使用料、手数料等の滞納の解消に、なお一層の努力をしていただきたい。

(歳 出)

1. 総務費

たきかわ紙袋ランタンフェスティバルは、本市における冬の重要な観光イベントのひとつに成長しており、実行委員会及び観光協会などと、よく協議をして進めていただきたい。

2. 消防費

防災に関する緊急時の機材や保存食料品などの備蓄については、今後も計画的かつ継続的な整備を求めます。

3. 職員費

超過勤務手当の削減対応については、管理職による業務に対する指針の明示と職員個々との意思の

疎通を徹底し、効率的な業務遂行を図っていただきたい。

4. 民生費

児童福祉のさらなる充実及び介護全般への、きめ細かな配慮に努力していただきたい。

5. 衛生費

滝の川斎苑の改修工事については、基本計画をしっかりと策定し、着工時期は改選期前になるよう求めます。

6. 土木費

公園緑地造成事業については、未来を担う子供たちの健全な育成のため、今後も時代に合致し、なおかつ安全性を重視した遊具の整備に努めていただきたい。

7. 商工費

企業誘致に関しては、継続的な情報収集と好機を捉えた迅速な関係者の派遣等、なお一層の努力を求めます。

8. 教育費

東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致については、関係諸団体等とよく連携をされ、パラカヌー練習場としての優位性を国内外に積極的に広報して、誘致実現に邁進していただきたい。

以上、討論といたします。

◎ 公 明 党

公明党を代表して第1 予算審査特別委員会に付託されました議案第1 号 平成28年度滝川市一般会計予算及び関連議案を可とする立場で討論致します。

はじめに大変厳しい財政状況の中で予算編成に取り組まれました市長、理事者、職員の皆様方に敬意を表します。

市長は市政執行方針で、国の人口減少に歯止めをかける地方創生に対し「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定、また厳しい財政に対し持続可能な財政基盤を築くための「滝川市財政健全化計画」を策定、推進されることを訴えられました。

この2本柱の方針を評価するとともに、本市の行財政改革元年と位置づけ、改善、改革に取り組む必要があると考えます。そういう意味からも、もう一歩踏み込んだ総点検に努められる事を要望し、討論といたします。

◎ 日 本 共 産 党

日本共産党を代表し、議案第1 号 一般会計予算及び関連議案を可とする立場で討論を行います。まずはじめに、消費税増税と電気料金値上げ、実質賃金の低下、年金の減少、人口減にともなう地方交付税の減少など国の悪政による地域経済と市の財政が悪化する中で、新年度予算を編成された、理事者・職員の皆様に敬意を表します。

新年度予算の特徴は、

第一は、5年間に5億円の収支改善を目指す財政健全化計画の初年度であること。

第二は、その影響で職員数は市立病院と学校を除き7人減少する中で行政運営を行うこと。

第三は、西小学校の大規模改修の補助金が国の予算激減で不採択となり独自で小規模改修をせざるを得なくなるなど、小中学校整備方針も立てられない状況であること。

第四は、まちづくりセンターを指定管理化し、市営住宅の指定管理を平成29年度開始する計画であり、

他の施設についても検討が進められる可能性があるなど、市の業務の民営化が進められること。

第五は、滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略にもとづく国の交付金事業で行われる事業を、ばらまきではなく本当に地域創生に結びつくよう、十分に考え判断することが求められることなどです。

次に、議案についていくつか意見を述べます。

議案第18号は、消費者センターの設置等に関する条例です。消費生活に関する相談及び苦情処理に関する対応が複雑高度化する中で、職員に求められることは専門的な資格と能力・経験です。第6条で「専門性に鑑み適切な人材及び処遇の確保に必要な措置を講ずるものとする」ことに見合うよう、消費生活相談員の嘱託職員報酬を倍加する程度までの大幅増の検討を求めます。

議案第30号 住宅改修の促進に関する条例の一部を改正する条例は、屋根の張替え・塗装、壁・床等の長寿命化・断熱・バリアフリー化等の一般改修を、財政健全化計画により平成28年度は事業を半減し年度いっぱい廃止、耐震改修についても28年度は事業縮小し1年間につき継続するものです。国の交付金の対象減や率低下により、市の一般財源支出が1,500万円程度に増えたことがその理由です。今後、子育て世代が中古住宅を購入して改修する場合、また改修して子育て世代に賃貸する場合に支援することは、少子化を止めるためにどうしても必要です。子育て世代の新築や改修政策に特化することを含め、抜本的な検討を求めます。

議案第31号から第33号、第35号、第37号は、コミュニティ施設、中央老人福祉センター、身体障害者福祉センターの指定管理者を指定する議案です。滝川市指定管理者制度適用方針等では、非公募とする理由として、「地域住民の利用又は地域の特性を活かした地域密着型の施設で、当該地域住民が組織する団体等の地域の活力を積極的に活用することにより事業効果が期待できる」などとしています。しかし、指定管理開始後10年以上経過しています。高齢化の進行や団体組織の変化もあります。公共施設が市民にとって最適な状態で管理運営するには、負担が重くなっている団体もあるのではないのでしょうか。次期選定までに、調査と対策を求めます。

議案第36号は、サンライフ滝川の指定管理期間を道の条件付き譲渡期間の満了時期に指定管理期間を合わせるものです。市は公共施設マネジメント方針を10年間に集中的に実施する方針ですが、造園・土木から除排雪まで行い高齢者の雇用と生活を支えるシルバー人材センターの拠点であることを考慮し、期間満了後に売却などは行わないことを求めます。

次に、予算執行にあたり、いくつか意見を述べます。

1. 保育所について

- (1) 耐震改修されないまま運営される二の坂保育所の入所数がほぼ定員の状況です。市内5保育所の定員460人に対し500人を超える4月の入所幼児の安全を早期に確立するために、他の4か所の保育所の定員改正だけで二の坂保育所からの異動が可能なのかについて早急に結論を出すこと。その上で耐震改修か、建替えか、改修して集約か、単なる集約かのどれにするのか方針を決めること。
- (2) 直営保育所の正職員は5割程度で、嘱託職員と臨時職員で残り5割を補完しています。同じ保育士資格を持ち経験も同等で、責任も同じようにあるのに、臨時職員の時給は3年前で771円と最低賃金とほぼ同じです。同一労働同一賃金にすぐにはできなくとも、資格と経験で採用する嘱託職員・臨時職員の給与の大幅増の検討を求めます。
- (3) 併設されている子育て支援センターの機能拡充で、廃止される親子ひろば「とんとん」の利用者ニーズを満足できるのか、検証を行うこと。

2. 買い物弱者対策について

ジョイ栄町店が閉店し、残る総合食料品スーパーの存続も懸念されています。市として既存の各スーパーの存続に向け、方針や売上状況などの調査を行い、閉店を未然に防ぐよう最大限の対策を実施すること。

3. 平成29年度のパークゴルフ場オープンへの準備について。

- (1) 平成27年第4回定例会で答弁された市民料金など市民が利用しやすい料金設定とすること。
- (2) 平成橋という遠い場所に多くの愛好者が行けるよう、タクシーの乗合などがスムーズに行くような方法を、タクシー業界と検討すること。
- (3) 既存のパークゴルフ場は集約を基本とすると、代表質問でいまだに答弁されているが、事業目的は市民の親睦と健康づくりであり、新パークゴルフ場の採算ではないことを基本に、従来どおりの予算と支援を続けること。

4. 小中高校の管理職の多忙解消について。

小中高校の管理職は、休日・時間外がほとんどとれない事例もあることを危惧するものです。これは学校教育の向上のため緊急に解決しなければなりません。今、教職員の児童生徒への不適切な指導が全国で相次いでいます。また教頭を希望する教員の減少も報じられています。その原因の一つに管理職の多忙があるのではないかと考えます。嘱託職員や臨時職員の増員などで管理職の業務を軽減するなど、解決策を早急に立てることを求めます。